

はじめに

セーフティSKパネルは、後を絶たない労働災害の撲滅を願って開発された安全工法です。吊り足場は、これまで丸太や単管をチェーンで吊り、足場板を敷くという方法で架設されてきました。しかし、その危険な作業のために、数多くの事故が起き、多くの尊い人命が失われてきました。

時代は変わり、安全対策が叫ばれていますが、安全帯の使用を義務付けしても、最終的には本人の意思に頼る他なく、不注意や間違いによって事故は発生します。

我々は、その原因は構造と作業手順そのものにあると考え、従来の吊り足場の構造を一枚のパネルに収めた結果、誰にでもできる簡単な工法と、飛躍的に向上した安全性を実現しました。

作業者も管理者も、安心して仕事ができる新時代の安全工法、それがセーフティSKパネル工法です。